

米寿記念の品の贈呈

昨年敬老会は開催できませんでした。今年も出来なくなり、せめて米寿の方(昭和9年1月1日〜12月31日生まれ)には記念品をお渡ししたいと、9月19日に本部役員が手分けして20名の方に贈呈させていただきました。

記念品を持って訪問すると、何十年も新聞配達を続けており、なおかつ畑仕事、家族の介護もされている方。家の周り、花の手入れをしている方。玄関に生け花を生けて、人形を手作りされている方。ここをよく迎えていただきかえって私達の方が元気をいただきました。

ヨツテミに今年もイルミネーション点灯

11月27日(土)午後5時、点灯式が行われました。当日は、NPO法人りょうぜん楽しもう会副理事長引地静子さん、霊山楽しもう会副理事長引地静子さん、山総合支所長穴戸康良さん、婦人会長八島良子さんが点灯ボタンを押しヨツテミがクリスマスマード一色に染まりました。



点灯されたイルミネーション

(NPO法人りょうぜん楽しもう会 理事長 大橋 イツ子)

掛田自治協議会からのお知らせ

掛田の広場

第28号
2021年12月23日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長 大友靖子



会長よりプレゼント

「白寿の舞」を元気に披露

新日本舞踊師範、山桃永伸翁こと菅野義治さんは、11月21日(日)霊山中央交流館で「白寿の舞」を元気に披露し、会場から祝福の大喝采を浴びました。翁は「今年99歳(白寿)を迎え、節目の年であり、元気なうちにお世話になった皆さんに感謝の意を込めて踊り、集大成としたい」と、決意を新たにしました。

これを受けて、山桃流家元山桃永伸竹(永山あささん)を始め、会員の皆さんは全面的に協力しようと舞踊チャリティーショー「新日本舞踊、秋のおどり」を計画、開催しました。チャリティーショーに寄せられた愛の募金は、掛田地区老人クラブ協議会に全額寄贈されました。(掛田地区老人クラブ 協議会長 阿部隆雄)



「白寿の舞」を披露

「大いに夢を語り合いました。」

掛田自治協議会

会長 大友靖子



新年明けましておめでとう
ごいげんます。

地域の皆さまには、掛田自治協議会の活動に對しましてご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

昨年はコロナ禍の中で、人と人とのふれあい、結びつき、絆が大事と目標を掲げて進めて参りました自治会の企画、事業が実行出来ず、もどかしい場面も多くなりました。それでも、ラジオ体操、はつらつ教室、地域のお宝発掘調査、自主防災組織の設立準備、掛田の広場の発行と、役員さんの熱意と地域の皆様のご参加を頂き、少しずつではありますが歩みを進める事が出来ました。

さて、今年「掛田の十年後、二十年後、三十年後を見据え、活気のある町づくり」を目指し発足した『掛田未来プロジェクト』で異世代の意見交換、未来を語り合う等次世代へ自信を持って継承できる町づくりも企画発信しました。

「大いに夢を語り合いました。」
ひとつずつ夢を

地域の皆さんと一緒に私達の住んでいる掛田を盛り上げて参りましょう。
今年も笑顔でよろしくお願ひ致します。

第2回霊山町シニアソフトボール懇親大会

11月3日(水)文化の日に月館町農村グランドで、霊山町に在住する60歳以上の皆さんによる第2回シニアソフトボール懇親大会が開催されました。若い頃を思い出し、プレーに挑戦しました。



うまく当たるかな

(大会事務局 安田亮二)

イベントのお知らせ

- 成人式
・1月9日(日) 霊山中央交流館 10:30~
- 掛田婦人会新年交流会
・1月19日(水) 霊山中央交流館 10:00~

「掛田未来プロジェクト」スタートしました

掛田地域を少しでも活性化したいとの思いで、掛田自治協議会の「掛田未来プロジェクト」がスタートしました。プロジェクトチームには、うれしいことに4名の高校生も参加しています。

早速第1回プロジェクトでは、「掛田の魅力」をインスタグラムで発信するために、インスタ映えするところをみつけよう」などのフレッシュな意見が続々だされました。来年3月までの予定ですが、掛田の活性化へ1歩でも2歩でも前へ進むことが期待されます。

(プロジェクトチーム委員長 八島豊吉)



第1回会議参加者

「さいとのまち」

改訂版が出来上りました。



希望者は霊山中央交流館へ申し込み下さい。電話 586-1314



意見交換会 掛田の未来を話し合う

コラム 頑張れ！大波3兄弟

11月28日(日)大相撲九州場所が千秋楽を迎えた。地元福島市出身大波3兄弟が大活躍の場所、3男若隆景は9日目2勝7敗になった時、テレビ解説「間垣親方」(前横綱白鵬)が若隆景に對し、練習しすぎで、本場所に疲れが残っていると評価した。

だが結果は、その翌日10日目から6連勝。見事に勝ち越した。親方の評価に反するが、練習をして技を磨いているからこそ勝ち越せたと思う。また、次男若元春は十両筆頭で11勝4敗、幕内新人幕を確実とした。長男若隆元は幕下28枚目で5勝2敗、来場所は幕下上位の位置。関取を狙える場所での活躍を期待する。3兄弟が揃って関取となり、新年度の初場所以降の大活躍を期待する。地元力士をみんなで応援しよう。

編集後記

今年も新型コロナウイルスの感染拡大で始まりました。ワクチン接種が進み緊急事態も解除され一安心と思っておりました。しかし、ここに来て世界的にオミクロン株の感染が広がりをみせ、心配されるどころです。またコロナによって冷えた地域経済の回復も望まれます。さて掛田自治協議会の会報「掛田の広場」もお陰様で28号となりました。年末の節目、いろいろと反省し皆様の為になる会報作りへと、スタッフ一同努めて参ります。今後ともご意見・ご投稿をお願いいたします。令和4年もコロナ対策をしっかり取り、迎える新年が良い年でありますように。

お問い合わせ先 霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@aoros.ocn.ne.jp



学習風景

第49回霊山町文化祭

去る11月6、7日(土・日) 霊山中央交流館・霊山体育館に於いて、第49回霊山町文化祭がコロナ感染対策を取り開催されました。6日に行われた芸能発表は、コロナの影響で7団体の出演でしたが、華やかさが充分感じられる内容でした。展示発表は6、7日の両日行われ、日本画・パッチワーク・陶芸・華道など見たえのある素晴らしい作品ばかりでした。

ただ一つ残念なのは、35年続けてこられたサークルパッチワークさんが今年最後の展示となったことです。毎年素晴らしい作品を展示して頂き、文連協より御礼を申し上げます。シルバー作品展も同時開催も、一段と賑やかさが感じられました。

衆議院議員選挙による日程変更もありましたが、無事開催された事に安堵し、又、令和3年度県芸術祭参加行事事務局

第49回霊山町文化祭

からも、無事開催の祝辞を頂きました。来年は第50回を迎えます。多くの団体が参加されることを願っています。

(文連協事務局 齋藤美和)



りんどう手話サークルの皆さん

楽しい生涯学習

今年度もコロナ感染予防をしながら、「文学講座」を受講することが出来ました。講師は元伊達市教育委員長の高野保夫先生です。

毎年、宮沢賢治の作品を鑑賞し、その世界にふれる事ができます。詩人や童話作家、音楽家そして科学者と天文学者の顔を持つ賢治にいつもワクワクしています。作品について、皆さんと意見交換するのも、楽しいひとときです。

(会員 星野 三枝)



シルバー作品展全景

第37回シルバー作品展

第37回シルバー作品展は、11月6・7日の両日、町体育館で町文化祭と同日開催で実施されました。

今年も、コロナ感染防止の観点からマスク着用等の協力を頂き、多くの方々に来場賜り感謝申し上げます。

近年会員の減少から展示参加者と出品数の減少が見られますが「どっこい元気で頑張っているよ!」と今年も丹精込めた作品と農作物が飾られ、来館の方々からは励ましの言葉を頂きました。

今後とも、高齢者らしい、高齢者だからつくれる作品作りを奨励し、応援活動を通じて行きたいと思えます。また来年、爺ちゃん婆ちゃん達の作品を皆で見に来てほしいと願っています。

(霊山町老人クラブ会長 佐藤隆昭)

第37回シルバー作品展



町探検隊の子ども達

掛田小2年生 町探検で来館

11月9日(火)掛田小学校2年生が2班に分かれて、町探検隊として霊山中央交流館に来館しました。各部屋を見て回り、交流館の仕事や利用についての質問がありました。

霊山町の人だけでなく、伊達市全地域の皆さんも利用している事、掛田小学校が現在の場所の前は、この場所が小学校であった事など興味深く聞いていました。

御礼の作文が届いていますので、下記写真で紹介いたします。

(掛田自治協議会事務局)



子ども達からの感謝状



春日山林泉寺にて

はつらつ教室「移動学習」

延び延びとなっていた掛田自治協議会映画祭が11月13日(土)コロナ感染対策をとり、人数制限の中で開催されました。「最高の人生の見つけ方」という作品でした。映画のあらすじは、価値観の違う2人の女性が病気になる、同じ病院に入院。又、同病院に入院していた12歳の少女の(死ぬまでやりたい事リスト)を手にして、2人の女性が、そのリストを全て実行していく決断をして、実行の過程で、人生は何か大切か、何が楽しいか、何が幸福か、夫婦のあり方とか、見ていこううちに映画に引き込まれていき、2時間の上映時間があつという間に過ぎ去りました。

映画祭の開催



午後の部 50数名が映画鑑賞

私自身も大感動のうち終わりとなり、もつと見たいと思う作品でした。

(社会教育部会副会長 菅野 正二)

10月15日(金)2年ぶりに実施された「はつらつ教室」移動学習には16名が参加し、秋晴れの下、米沢市へ出かけました。八島利幸部長さんが一日ガイド役を務めて下さいました。

はじめに「春日山林泉寺」を訪れ、実際に上杉家や直江兼継のお墓の前に立ち歴史を身近に感じました。昼食は上杉城史苑で芋煮汁など秋の味覚を堪能し、その後「北山原殉教遺跡」(53名の隠れキリシタンが処刑された跡地)へ行き、その時代の悲話を聞きました。帰りには「道の駅米沢」に寄り、楽しい移動学習となりました。

(はつらつ教室 事務局)

緑化推進事業

10月27日(水)掛田自治協議会役員で植栽を実施。パンジー、チューリップをプランター9個に植えました。パンジーは現在、色とりどりの花を咲かせています。来春には、チューリップの花が楽しみです。皆さんも交流館においでの際、お花を楽しんでください。(掛田自治協議会事務局)



中学生がボランティア活動

11月1日(月)霊山中学校2年生21名が町体育館の床清掃、ガラス拭き、落ち葉掃き掃除等ボランティア活動を行いました。お陰様で体育館と周辺がとても綺麗になりました。

(掛田自治協議会事務局)



ボランティア清掃風景

パンジー植栽プランター寄贈

11月1日(月)霊山中学校3年生の鎌田恋斗さんと担任の佐藤先生が来館され、パンジーを植栽したプランターを交流館に寄贈して頂きました。

玄関前の可愛いお花を皆さんで楽しんでください。

(霊山中央交流館)



お花をいただきました

ミニ門松づくり

12月18日(土)午前10時から霊山児童館においてミニ門松作りが行われました。今年も準備された材料を利用して趣向を凝らした作品が出来上がりました。

(社会教育部会 小松田道雄)

